

6・人間になつたら、したいこと

4から十数分後。

主人公とモニカ、二人でベッドに入つていて。すでに着替えて、寝る準備は万端。

そこでモニカ、ドキドキと話を切り出す。

**SE1**..部屋の環境音 【トラック1～5のSE1と同じ。トラック終了まで、「く小さな音で流す】

**SE2**..モニカがベッドの中で「そぞろ動く音【すべて流す】

「ねえ。あなたって、生まれてからの最初の記憶ってわかる？」

〈主人公〉

「覚えてる覚えてる。

児童会館？の肋木（ろくぼく）に登つて遊んでたら、うつかり落下して。頭を打つたって記憶だよ」

【予想外にハードなのでギョツとする】

え？ それはいきなり大変な記憶ね。

【気を取り直す】

※ここから次の「※」マークまで、真面目な口調で。

あのね。私の最初の記憶は、あなたが。

今にも死にそうになつている私を、病院に連れて行つてくれる思い出よ。あの時私、実はもうだめなんじやないかと思つてたの。

寒くて、苦しくて……。

あなたが頑張つてくれてるのに『もう何をしても無駄よ。私はこのまま死んじやうの』つて、自分を諦めそうになつていたの。

でも、あなたは手を尽くしてくれた。

何のゆかりもない捨て犬の私を拾つて、また元気に暮らせるようにしてくれた。きっと、すごくお金もかかつたでしょうに……。

『これから一緒に住もうね』って言つてくれた。

だから私。

あなたってお金持ちで、すごく余裕のある人なんだろうって、最初の頃は思い込んでいたの。

でも、すぐに違うってわかつたわ。

【泣きそうになる。毎日倒れるほど真面目に働いている主人公を想うと涙が出てくる】

あなたは毎日お仕事大変で、夜遅くまでフラフラになつて。崖っぷちのところで頑張つてるので。本当に、誰かを助ける余裕なんてなかつたのに……。

それでも私を拾つてくれたんだって。※

あのね。だから。今度は私があなたに色々させてほしいの！

これからいっぱい勉強するし。

アルバイトもして家計も助けちゃうんだから！

【少し間を空けてから】

……大好き。

【真剣に。これを一番伝えたかった】

あの時私を諦めないでいてくれて、ありがとう……」

SE3:『ほん、ほん』と主人公がモニカの頭を撫でる音 【トラック4のSE8と同じ音。0～4秒ほどまで流す】

〈主人公〉

「それは頼もしい！ ありがとう。でも。無理しないでね。私はモニカと一緒にいてくれるだけで幸せなんだから」

「ダメよ！ 私。断固恩は返す主義なの。

……あ。そういうえば、さつきの用事つて何だつたの？

【申し訳なくてしゅんとする】

私、話も聞かずに追い出してしまったわ」

〈主人公〉

「そろそろ。今度近所の神社でお祭りがあるから、一緒に行こうよつて誘おうと思つてたの。花火大会もあるんだよ。どうでしよう？」

SE4:モニカがベッドの中で大きく動く音 【0～2秒ほどまで流す】

【大きくテンションが上がる】

え? 夏祭り?

行く！ 行くわ！ ゼひ連れて行つて頂戴！

【ハツと気づく】

そつか……私。これからはあなたとどこへでも行けるのね。

もう、一人でお留守番しなくていいのね！

【さらにテンションが上がる】

あのね！ だつたら私！ あなたと行ってみたい場所がたくさんあるの！  
まずはね、遊園地でしょう。それから、海でしょう？  
それから……それから……。

【眠くなつてくる】

んー……

SE5.. モニカがベッドの中で眠そうにもぞもぞ動く音 【0~3秒ほどまで流す】

〈主人公〉

「大丈夫？ モニカ。 そろそろ眠いんじゃない？」

【とても眠い】

んにや……まだまといけるわよ。 最近の犬は夜更かしなのよ。

【眠い。話し方が非常にゆっくりになる】

だからね……それから……。 それからあ……。

【眠つてしまふ】

ぐう……むにや……

主人公、眠つてしまつたモニカを見て、思わず笑つてしまふ。  
モニカの頭を撫で、自分も寝る事にする。

SE6.. 主人公がモニカの頭を撫でる音 【0~3秒ほどまで流す】

SE7.. 主人公が部屋の明かりを消す音 【0~2秒ほどまでの、1回目の『ボ、コン』を  
流す】

SE8.. 主人公がモニカに布団をかけ直す音 【0~7秒ほどまで流す】

しばらく環境音のみで、そのままフェードアウトする。